

# ぱれっと

7 2013  
月 No.167

“ぱれっと”には、サポセンにいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく…そんな願いがこめられています。



P2～P3 **協働** のまちづくり SENDAI ▷

町内会 × 行政 × NPO・市民団体

地域を開き活性化につなげた「まちなか農園藤坂」の取り組み

P4 **つながる つなげる サポセン** ▷ ハジマル、フクラムプロジェクト

— 「本」からハジマル、フクラムトークナイト —

P5 **シニア横丁日記** ▷ シニア世代はキャリア世代。今こそ「学び」の楽しさを！

P6 **仙台市市民活動サポートセンターからのお知らせ**





社会の課題を解決するためには、市民・企業・行政が連携して取り組む“協働”が重要です。仙台の市民活動における協働の事例や関連情報をお伝えします。

町内会 × 行政 × NPO・市民団体

## 地域を開き活性化につなげた「まちなか農園藤坂」の取り組み

仙台市内の青葉区片平地区、花壇大手町町内会の中に「まちなか農園藤坂」があります。この農園は、地域のコミュニティを育てることを目的に、様々な団体、行政との連携によって管理運営されています。地域住民が主体となったまちづくりと市民協働の取り組みについて、農園の運営に携わっている花壇・大手町地区ランドデザイン作成委員会、まちなか農園分科会リーダーの今野均さんにお話を伺いました。



### 地域住民の声から分かった課題

「まちなか農園藤坂」ができるきっかけとなったのは、大手町町内にある約 1,000 坪の都市計画道路建設予定地が空き地になっていたことでした。地下鉄東西線の工事が始まると、期間中、資材置き場化してしまい、そうすると景観上や防犯、交通安全上の様々な問題が懸念されます。2004 年当時、この空き地の利用の仕方が、町内の住民から出た一番の問題点でした。

仙台市と花壇大手町町内会住民との地区懇談会が開催され、担当課とも話し合い、まずは空き地を翌年 2005 年からポケットパーク（小規模の公園）として活用を始めることになりました。そしてさらに、町内会の中で、より有効な利用法についての議論が始まりました。



▲ 現在今野均さんは、片平地区連合町内会長 / 花壇大手町町内会長を兼任

### アーバンスコップ倶楽部との出会い

もう一方で、仙台市のシンクタンクであった仙台都市総合研究機構 (SURF) では、市民と市職員が研究員となり、「杜の都に田園資源を活かす研究」事業を実施。2006 年に仙台駅東口にアーバンスコップと呼ばれる畑をつくり実験を開始していました。(SURF は 2007 年に廃止され、活動はその後アーバンスコップ倶楽部に引き継がれています。)

この事業に花壇大手町町内会に加わって欲しいと提案がありました。見学に行った今野さんたちは、畑に集まっている NPO や農業高校生などのサポーターたちの活動を見て、「高齢化する我々の町内に、この若者たちが来てくれたら間違いなく活性化するだろう。空き地で畑づくりをやってみよう」そう、決断しました。

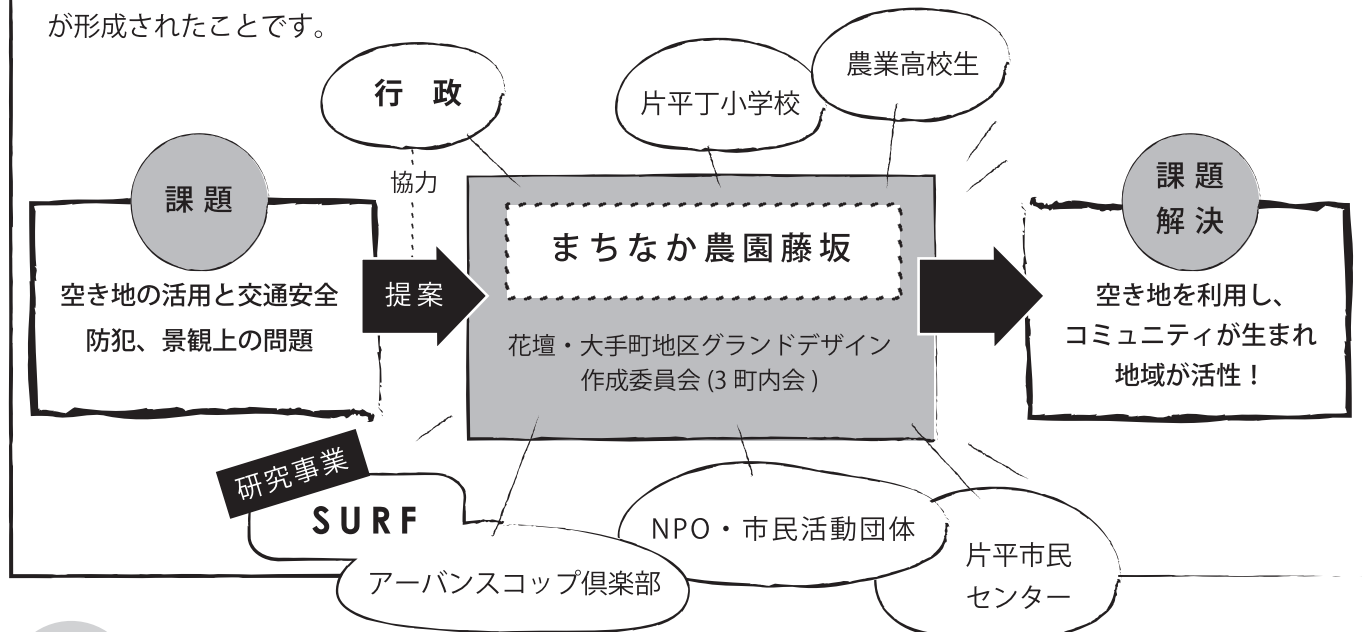


▲ 農園入口にある看板には、広場の活用について告知されている



▲ 農園は、共同管理区画、片平丁小学校区画、個人管理区画、広場に区分

住民の課題・問題点を解決・改善するために提案された事業に、行政が支援・協力していく一方で、活動を支える学校、市民センター、NPO・市民活動団体が参画し「まちなか農園藤坂」を核とするコミュニティが形成されたことです。



### 農園での畑づくりはひとつの切り口

2007年から活動が本格化し、農園の運営は、花壇・大手町地区の町内会を母体とする「グランドデザイン作成委員会」が行っています。まちなか農園藤坂の取り組みが、他の市民農園と違う点は2つあります。ひとつは、みんなで空き地から開墾し、畑を生み出してきたという農園への愛着。もうひとつは、収穫物を作ることが第一ではなく、コミュニティを育てることが目的だということ。農園に関わる人たち全員が活動に協力し、責任を持ち、「農」をツールとして、住民自身が地域問題を解決する力、まちづくりの力を育てていこうというのが狙いでした。

### 3.11を経験して、安心安全なまちづくりを考える

まちなか農園藤坂の協働による先駆的な地域づくりの取り組みが成功し、定着していく一方で、片平地区というさらに大きい単位での取り組みが始まっていました。片平地区連合町内会が、『片平地区平成風土記』(2009年3月発行)を作成。その編集には、片平地区の住民58人程が関わったそうです。

2010年に地域別、組織別に成果をあげている各々の活動を総合的に生かそうと、片平地区まちづくり会が設立されました。震災をはさんで2013年3月に、「片平地区まちづくり計画」を作成。将来目指

すまちづくりの目標に向け、関係団体と連携のもと優先的に取り組む6つのプロジェクトが掲げられています。

「片平地区まちづくり計画」に基づき震災後編集された冊子『ウェルカム片平』(2013年3月発行)は、片平地区内に建設が予定される復興公営住宅への入居者に向けて作成したまち案内です。冊子を通して、移り住んで来る人と、迎え入れる人との交流が生まれることを期待し、また新たなコミュニティをつくりあげていこうというものです。

今野さんは、「協働のまちづくりは、地域の課題解決策のため、自分たちでできることは実施し、行政と協働してやらなければならないことは提案していくという姿勢が大切だ」と、語ります。住民自ら課題を発見し改善していく力は、行政や多くの団体との協働のプロセスを経て「市民力」として培われていくのではないのでしょうか。(葛西淳子)

#### 参考資料

- ▷ まちなか農園—まちを育てる畑—  
発行/2008年3月  
仙台市(企画市民局総合政策部政策企画課)
- ▷ まちなか農園藤坂—2008年～2011年の記録—  
発行/2012年3月  
花壇・大手町地区グランドデザイン作成委員会



# ハジマル、フクラム プロジェクト

このプロジェクトでは、「ハジマル、フクラムトークナイト」と題し、毎回さまざまな分野で活動するゲストをお招きしてトークイベントをひらきます。自分の好きなこと、気になること。そこからはじまった色々な活動と、はじめた人たち。そんな活動や人との出会いをきっかけに、互いのアイディア、想いをモクモクとふくらませていくプロジェクトです。

つながる  
つなげる  
サポセン



## 本 からハジマル、フクラムトークナイト 6/27 開催

毎年、「6月は本の月」をキャッチフレーズに、1ヶ月間本にまつわる様々な企画が仙台のまちなかで行われています。

今回は、その仕掛け人 Book!Book!Sendai 実行委員会の武田こうじさんと桃生和成さんをお招きし、「本」からはじまった、本と人と街をつなげる活動について、はじめたきっかけや想い、継続していく中での変化などのお話を伺いました。

当日は、これから自分で何かはじめたいと考えている方、本が好きな方など、年代も職業もさまざまな17名の方が参加しました。



## みなさんとの、対話 から。

本をきっかけに人が集まる場づくり、本とお酒のコラボレーション、自分が日々気になっている課題に対する試みなど、参加者のみなさんの頭の中には、アイディアがたくさんありました。しかし、何からはじめていいのか、どこに相談したらいいのか分からなくて…というお話もあり、武田さんや桃生さんの経験から、アクションへ移すポイントを紹介。

また、「この人に話を持っていくといいよ」といった具体的な提案まで、みなさんで情報交換をし、アイディアが実現に向けてモクモクとフクラム会となりました。みなさんの今後の活動が楽しみです。

サポセンでは「自分たちの住むまちや社会をもっと良くしたい」そんな市民の自発的な活動を応援します。ぜひご利用ください。(松村翔子)



はじめるポイント

コラボのポイント

memo

- ▶ 関心ごとにはいつもアンテナを!
- ▶ キーマンを見つけよう!
- ▶ はじめから大きなことをせず  
小さな実績をたくさん作ろう!
- ▶ サポセンを活用してみよう!
- ▶ お互いにとって、何が大切なこと  
か、しっかり考えよう!
- ▶ 何を主役にするのははっきりさせ  
よう!

by

Book!Book!Sendai 実行委員会  
<http://bookbooksendai.com/>

次回!  
8/1(木)  
19:00 ~ 21:00

テーマは **音楽** です。

GUEST

- ▶ 定禅寺ストリートジャズ  
フェスティバル(JSF)
- ▶ YAMAHA おとまち(音楽のまちづくり)  
プロジェクト



まだ・これ

# シニア 横丁日記

「シニア横丁」は、まだまだ、これから！50歳後半からのセカンドライフに意欲を燃やす人や情報が集まる場所。これから新しい一歩を踏み出そうとしている方は、ちょっと寄っていきませんか。

## シニア世代はキャリア世代。今こそ「学び」の楽しさを！

NPO 法人楽遊ネットワーク宮城 代表理事 鎌田 成子さん

鎌田さんは現在、英会話スクールの代表、NPO法人の代表理事、大学の非常勤講師、さらには大学院で若者と一緒に「地域観光」を学ぶなど様々な顔を持ち精力的に活動されています。今なお学ぶ楽しさを追求している鎌田さんのシニア世代へ備える今をお聞きいたしました。



### 「面白そう！」から始まるストーリー

英会話を覚え習得した受講生には、実践する機会が必要、と6年前、国際交流を目的とした英会話の実践の場「NPO 法人楽遊ネットワーク宮城」を誕生させ、簡単な通訳や海外から来た方への観光案内を行っています。

現在では、仙台の地で眠っていた「三十三観音堂巡り」を復活させ、外国人を含め延べ1,000人以上の人々にその存在を伝えています。きっかけは雑談の中から。観音堂を巡る民間信仰が仙台にあったことを知り「どこにあるの？」と興味と好奇心から一つひとつ捜し歩いたことが始まり。「興味を持つと安易に興味のある方向に動き出しますが、さらにその先にある自分の理想の形に、あきらめずに追求するところがあります」と鎌田さん。その姿勢はまさに「学び」の原点のように感じました。

### ずっと消えずに残っていた「ことば」

20年以上前、時代的な背景もあり、英会話の必要性を感じスクールを立ち上げた鎌田さん。それまでは事務職として資格を生かしたデスクワーク中心の仕事でした。「今となると、どこで誰に言われたのか覚えていないのですが『人と接し、教えるとい

うことをあなたの仕事にしたら良いのでは』と言われたことがありました。しかし当時は、受け止めるだけの目標も志もなく、時が過ぎていました。そんなある日、書類と会話するだけのセクションからカウンター業務への異動の話があり、経験が無くできるかどうか不安があったそうですが、接客という仕事をしてみたいと思いその話を受けたそうです。「多分無意識に心に引っかかっていたあの言葉を意識したのかもしれませんが。考え方や生き方が少しずつ変わってきたのはそれからのように思います」。

### シニア世代は学びの世代、キャリアを重ねる

そんな鎌田さんからセカンドライフを迎える人々へのメッセージは「自分から学ぶ機会を放棄しない」ということ。「学びは尽きることはない、飽きることはないおもちゃ箱」と例えます。学びはそれだけで人を輝かせる良薬となり、興味や好奇心は人を成長させる栄養剤。日ごろからキャリアを重ねることは、将来迎えるシニア世代を充実させることにつながるのだと気づかされました。

「人生の最後に『いろいろあったけどいい人生だった』と言えたら最高の幸せです。もう少し頑張ります」と話す鎌田さんの笑顔は、何か楽しく、嬉しそうでした。

(田口博徳)

## 仙台市市民活動サポートセンターからのお知らせ

7月20日

シニア活動支援センター 専門相談

**NPO・市民活動の団体立ち上げや、  
地域ビジネスに関心のある方への  
個別相談会です！**

専門相談員 佐々木 秀之 さん

NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター  
ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス担当

お申込み：仙台市シニア活動支援センター  
TEL：022-217-3983 FAX：022-217-3984

日時：2013年7月20日(土)

午前10時～午後4時の間で1名あたり50分程度

会場：仙台市市民活動サポートセンター 3階

参加費：無料

定員：5名(個別相談・グループも可/先着順)

対象：おおむね55歳以上の方で、下記希望がある方

- ・NPO、市民活動団体を立ち上げたい方
- ・起業したい方
- ・ソーシャル、コミュニティビジネスについて知りたい方
- ・シニアの活動団体や起業、創業の事例を知りたい方など

### つながる つなげる サポセン

#### ▶仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

#### ▷仙台市シニア活動支援センターとは

シニア世代の地域・社会参加活動を応援していますので、お気軽にお問い合わせください。

#### ▶相談・つながるサロンとは

市民活動サポートセンターとシニア活動支援センターの相談窓口を3階に集約し、じっくりご相談いただける環境を整えました。

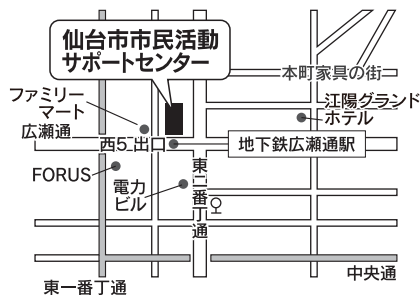
#### このようなご相談おまかせください

- ・市民活動の立ち上げ、法人格の取得
- ・団体運営、組織運営
- ・復興支援活動
- ・シニア活動、セカンドライフ相談など

#### 相談時間

- ・平日：午前10時～午後8時
- ・日祝：午前10時～午後5時

#### ▷ご案内図



- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄りのバス停] 電力ビル前、商工会議所前

[地下鉄] 広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

- 当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でご来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注) 路上駐車・駐輪は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

#### ▷「ぱれっと」読者アンケート にご協力をお願いします！

サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等で右記の2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



#### 編集後記：

日々の生活の中で出会う好きなこと・気になること。それはもしかしたら市民活動の種かもしれません。今年度サポセンでは、心の中にある想いやアイデアをふくらませるトークイベントを開催していきます(P4参照)。サポセンの講座・イベント情報は、チラシの他HP・ブログ・twitterでお知らせしますので、チェックしてみてくださいね！

発行：仙台市市民活動サポートセンター

仙台市シニア活動支援センター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

HP <http://www.sapo-sen.jp>

Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>

発行日：2013年7月11日

編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人：菊地竜生 菅野祥子 田口博徳 葛西淳子 松村翔子

#### ▽開館時間

平日：午前9時～午後10時 / 日祝：午前9時～午後6時

#### ▼休館日

毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)

及び、年末年始(12/29～1/3)

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間 2010年4月1日～2015年3月31日]